

令和元年度 事業報告書

第19期(2019/7/1～2020/6/30)

特定非営利活動法人 だんだんの樹

(認定NPO法人)

1 事業活動方針による活動報告(法人全体)

だんだんの樹は平成12年、介護保険が施行された年に有志でのボランティア活動から出発し、平成13年7月にNPO法人格を取得して以来、3つの介護保険事業と障害者支援事業それに地域交流拠点「コミュニティだんだん」の活動を合わせて、合計5つの事業を推進しています。

これらの事業は、だんだんの樹の理念をもとに年月を重ねてきたわけですが、定款にもうたっているように、たとえ身体が不自由になったとしても、安心して住み慣れた地域で最期まで過ごしてもらえるよう、個々の利用者様の気持ちに寄り添いながら、できうる限りのお手伝いをさせて頂いています。

だんだんの樹は今年4月に創立20周年を迎えましたので、何かお祝いをしたいと計画していました。しかし新年早々から世界を脅かした新型コロナウイルス感染症への対応に追われる毎日となってしまう、思うような活動ができませんでした。それでも私たちは専門職として自分自身や家族の感染防止に留意するのはもちろん、介護保険及び障害者支援事業者として感染予防を徹底しながら利用者さまに寄り添ってきました。今もその状況は続いています。

このようにして私たちだんだんの樹では、その時々課題を解決しながら地域のニーズに応える形で活動してきましたが、引き続き各自の専門性を発揮して地域の皆様の応援をしていきたいと考えます。おひとりお一人とじっくり向き合って関係作りをし、その方の思いに沿ったお手伝いをしていけたら、きっと住んで楽しく安心な地域になり、それは私たち自身にも返ってくることだと思います。

さて19期の決算を終え、コロナ禍の影響も多分にあると考えますが、事業収支が創業以来の大きな赤字計上となってしまいました。(事業計画に対しては95%達成の数字となっています)私たちはこの結果を真摯に受け止め、その原因を探り、次の10年、20年に向けての“事業継続”には何が必要なのかを、スタッフみんなで考えながら歩んでいかなければなりません。20期を飛躍の年にするためにも頑張りましょう。

(理事長：服部 恵津子記)

2 事業収支に関する報告（第17～19期決算報告書からの抜粋） 単位円

(1) 収入の部		(19期)	(18期)	(17期)
事業収入	小規模多機能	55,517,830	60,146,139	64,873,881
	訪問介護（障害関係他含む）	27,117,858	29,232,652	31,849,139
	居宅介護支援（認定調査含む）	7,550,954	9,725,646	9,934,658
	コミュニティ（補助金・助成金含む）	7,463,792	9,670,433	8,668,143
その他収入	寄付金	950,578	756,855	1,093,566
	その他収入	1,513,687	509,505	976,311
	(合計)	100,114,699	110,041,230	117,395,698
	(前年比)	9.0%減	6.3%減	4.7%増
	(予算比)	5.1%減	0.1%減	5.0%増

(2) 費用の部		(19期)	(18期)	(17期)
事業経費	給料手当て	72,516,067	76,771,878	78,157,234
	法定福利費	7,016,066	7,375,331	8,308,504
	旅費交通費	1,103,422	1,371,409	1,857,633
	福利厚生費	1,239,974	905,800	697,593
	地代家賃	8,747,344	8,924,136	8,924,136
	水道光熱費	1,699,138	1,883,426	1,792,087
	消耗品費	1,483,338	1,121,508	1,558,602
	通信費	931,315	951,802	961,652
	食材費	2,779,162	3,539,359	3,785,271
	減価償却費	3,172,561	2,619,414	3,424,178
	保険料	1,140,784	1,087,396	1,188,075
	車両費	637,944	906,934	618,718
	その他	2,255,590	3,009,857	3,412,108
		(合計)	104,722,705	110,468,250
	(前年比)	5.3%減	3.7%減	4.2%増

(3) 事業収支の部		(19期)	(18期)	(17期)
経常利益・損失		△7,422,271	△2,411,796	338,030
営業外収益（寄付金含む）		1,326,279	1,586,360	2,059,877
助成金収入（コミュニティ分+雇用調整助成金）		1,487,952	500,000	300,000
営業外費用		△25,000	△27,084	△702,499
法人税・事業税等支払い分		△74,500	△74,500	△74,500
当期純利益・損失		△4,707,540	△427,020	1,920,908

(4) 貸借対照表 (令和2年6月30日現在)

資産の部 (合計¥48,995,564)		負債の部 (合計¥48,995,564)	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】計	22,172,140	【流動負債】計	11,141,126
現金・預金	5,912,035	借入金	5,000,000
未収入金	15,106,085	未払い費用	5,191,077
前払費用	1,119,290	その他	950,049
その他	34,730	純資産の部 (正味財産)	
【固定資産】計	26,823,424	【資本】計	37,854,438
建物	20,969,132		
建物付属設備	4,700,317		
車両運搬具	4		
その他敷金等	1,153,971		

3 各事業内容の報告

(1) 小規模多機能型居宅介護 (定款第5条第1号) 小規模多機能事業所 だんだん

19年度は、月の利用者登録数が平均18名に終わり、前年度よりも約1.5名減りました。

2年連続での減少であり、事業継続の面から見ても厳しい数字と言わざるを得ません。

しかしながら、職員は人数、経験(実力)、職種共に充実していますので、20年度は、目標を20名登録確保とし、達成に向けての具体的な行動指針を全員で共有し頑張りたいと思います。

小規模多機能事業所だんだんでは、『体制強化加算Iイ』(介護福祉士数50%以上)に加えて20年度からは、『看護職員配置加算』(看護師を常勤換算で1人以上)を新たに取得し、より一層充実したケア体制を整えることが出来ました。これからも全職員の力を結集して、ご利用者様がいつまでも地域の一員としてその方らしい生活の継続ができるよう、当たり前の日常を支えていきます。

(事業報告事項①)

- ・地震想定避難訓練 2020.3.28
 - ・夜間想定避難訓練 2020.7.21 (コロナ禍の為、延期となった)
 - ・外部評価、情報公表調査、利用者満足度調査実施
 - ・運営推進会議の実施
- (8/28、10/16、12/18、2/19、4月コロナ禍の為中止、6/17・・・年5回開催)
- ・泉区社協サマースクールボランティア体験受け入れ
 - ・介護職員処遇改善加算(I)を取得し、処遇改善を実施
 - ・特定介護職員処遇改善加算(I)を取得し、処遇改善を実施

事業報告事項②) * () は昨年度

延べ利用者数 (名)	平均介護度	延べ職員数 (名)
222 (234) 月平均18.5 18~20で推移	2.19 (2.4) 2.1~2.3で推移	152 (186) 月平均12.6名 内看護師30(30)

(ご利用者サービス利用状況) * () は昨年度

	通い	訪問	泊り
延べ人数	2636 (3087)	2753 (3028)	549 (604)
月平均	219 (257)	229 (252)	45 (50)

(2) 居宅介護支援 (定款第5条第1号)

<令和1年7月~令和2年6月の実績>…介護予防支援委託、認定調査を含む

述べ利用者数 (支援委託含む)	平均介護度	述べ従業員 (兼務あり)	月平均売上げ
739名 (62名/月) ⇒125名減	(介護) 2.4	72人 (6人/月)	63万円 ⇒17万減
事業報告事項	① 特定事業所集中減算報告 (秋・春) ② 情報公表調査、利用者満足度調査実施		

地域の社会資源をできるだけとりこみ、本人の思いを尊重しながら自立支援に向けたきめ細かいプランで対応してきました。

また、休暇等で担当が勤務していない時でもご利用者様に不利益が生じない様に職員間で情報を共有し、対応できるように心がけています。(渡邊)

(3) 訪問介護 (定款第5条第1号及び3号)

<令和1年7月~令和2年6月の実績>…介護予防訪問介護を含む

述べ利用者数	平均介護度	述べ従業員 (兼務あり)	月平均売上げ
643名 (53名/月) ⇒119名減	(介護) 2.5	212人 (18人/月) ⇒21人減	169万円 ⇒26万減
事業報告事項	① 特定事業所加算 (Ⅱ) 取得 (10%割増し) ② 介護職員処遇改善加算 (Ⅰ) 及び特定介護職員処遇改善加算 (Ⅰ) を取得し、処遇改善実施 ③ 情報公表調査、利用者満足度調査実施		

要介護の利用者が減少し、要支援の利用者は若干増加傾向。2月頃からは新型コロナウイルス感染予防をしながらの活動となったが、今後も続いていくと思われるので、感染予防対策の体制作りが必要と考える。その上で受入人数は維持しながらご利用者様の状態、ご希望に添ったきめ細かい支援をしていく。実現のために、引き続きヘルパー個別の目標設定と研修・定例会等で自己研鑽に努める。(櫻井)

(4) 障害者総合支援法に基づく活動（定款第5条第2号及び3号）

<令和1年7月～令和2年6月の実績>

述べ利用者数		述べ従業員（兼務あり）	月平均売上げ
123名（10名/月） ⇒変わらず		訪問介護と重複	55万 ⇒10万増

新型コロナウイルス感染予防のため、余暇を目的とした外出は難しくなったが、通院や、日常生活に必要な外出の依頼は増加していることと（特定）介護職員処遇改善加算（Ⅰ）の取得もあって、売上高は増加している。今後も利用者数は増やさず、各利用者が不安なく在宅生活が送れるよう支援していく。また、同行援護従事の有資格者を増やし、利用者のニーズに応じていく。（櫻井）

(5) 移動サービス（有償運送）

<令和1年7月～令和2年6月の実績>

述べ利用者数	述べ利用回数	述べ従業員（兼務）	月平均売上げ
52名（4名/月） ⇒3割減	194回（16回/月） ⇒3割減	9名 ⇒変わらず	2.1万 ⇒4割減

要介護者が減ったことで、利用も減少している。運転者がヘルパー業務と兼務している為手配が難しいので、今後も登録利用者は増やさずに、現利用者の依頼に応えられる体制は維持していく。（櫻井）

(6) 介護ボランティア活動（定款第5条第4号）

① 法人主催の行事報告

緑園新春コンサート 17回	令和1年1月11日	お客様 143、演奏者 58、ボラ 31
春をよるこぶ落語の会	令和1年3月21日	コロナの為、中止

② コミュニティだんだん

平成18年10月から開始した「しゃべり場わいわい」は、令和2年2月21日の第124回開催を最後に終了しました。平成20年7月から有志のボランティアさんの発案で始まった「しゃべり場くすくす」も令和元年12月の第100回開催で幕を閉じました。両サロンとも地域のボランティアさんに支えられて継続してきましたが、10年余りの年月を経て、支え手の高齢化が課題となり終了となったことには違いありません。また、利用者さんが楽しみにしている毎年のバス旅行は、今回コロナ禍のため企画することが出来ませんでした。残念です。

（その他コミュニティだんだん収支は別紙参照）

ビジョン

- ◎『年を重ねても誰もが健康で楽しく輝いて暮らせる地域』を目指し、地域の方が主役となって活動できる場を作ります。
- ◎介護予防・健康づくり事業を通して【健康寿命を延ばす活動】を地域の方と作り上げ定着させていきます。
- ◎“お互いさまの助け合いの輪”を広げていくための【風土づくり】を通して、助け合い・支えあう地域を目指します。

主な具体的活動と参加者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
① 夢カフェ運営 (月曜日～金曜日)	28	28	33	43	26	28	31	32				20	269
	5	5	5	1	3	0	2	0				1	22
65歳以下	180	136	143	157	141	104	131	124				147	1263
65歳以上	280	218	315	298	295	204	238	223				267	2338
② 夢クック	28	26	33	39	36	24	25	23				32	266
③ 介護予防事業運営 (水曜日～木曜日)													
(火曜日)	83	70	72	100	81	60	69	58				50	643
(第2金曜日)	41	19	23	22	37	24	32	17				26	241
(第2・4日曜日)	16	4	6	4	6	6	5	3				0	50
しゃべり場事業 (第3金曜日)	3	2	0	6	8	3	7	8				6	43
(第2月曜日)						27							27
(月・木曜日)	11		13	10	12		11	11					68
(随時)	6		3		6	5							20
④ 学習支援・こども食堂	45	79	66	80	65	63	79	58					535
	43	38	42	43	49	44	39	44				24	366
	4	4	6	4	18	3	3	2	5	11	7	4	71
	35	2	46	60	39	33	38	39				27	319
	16	5	16	27	18	12	13	15	2			15	139
	6	7	8	7	9		5					8	50
	3	2	2	1	2		0					2	12
	17	10	55	147	49	71	5	16				2	372
	18	13	21	22	13	9	22	9	1				128
合計	868	668	908	1071	913	720	755	682	8	11	7	631	7242

夢クック	ランチ食	523	420	499	522	533	351	431	385			396	4060
*	2月で5年目を迎え、各事業は賛助会員・ボランティアさんの力添えを得て順調に事業が進められている。												
*	オレンジカフェ 毎月第2金曜日 * 折り紙カフェ 毎月第2水曜日												
*	講座「人生100年時代をみつめて」毎月第1火曜日実施 * 講座「朗読・語りの会」年2回実施												
*	見学 10件 実態調査 2件 卒業論文支援 1件 * 運営推進会議 年7回 プロジェクト会議 年2回												
*	横浜市介護予防・日常生活支援事業(横浜通所型支援) * 事業対象者 「脳いきいき教室」水曜日 4名 木曜日 9名 金曜日 4名 「新型コロナウィルスの影響で麻雀・ラミューキューブは中止」												
*	4月から第1・2・3金曜日の「生活リハビリ」を通所型支援事業とします。												
*	東京都健康長寿医療センター指定の介護予防運動指導員養成講座を受講し、エビデンスに基づいた教室を行っている。												
*	来所者数 延べ7242名 ボランティア活動 延べ1180名 (令和元年度 利用会員 73名 賛助会員 61名 寄付応援者 29名)												
*	新型コロナウィルス感染拡大予防のため2月27日～5月31日の事業は中止しました。(31日の活動報告会中止)												
*	6月2日より夢クック・夢カフェ再開。6月9日より教室等の事業再開。												

4 職員の意識向上の為の取組み

(1) 外部研修受講状況

事業ごとに研修計画を作成し、実施している

(2) 内部研修

毎月の各事業別スタッフ会議、定例会等にて実施

(3) 各事業定例会開催予定

小規模多機能事業所だんだんスタッフ会議	毎月第4水曜日	17:30～
〃	リーダー会議	随時
訪問介護・障害者支援	毎月1回	
〃	管理者・サ責打合せ	随時
移動サービス	毎月最終水曜日	14:30～
コミュニティだんだん	随時	
居宅介護支援	2ヶ月に1回	

毎月それぞれの事業所スタッフが一同に会して行う定例会では、業務内容の共有、介護技術の習得、職員交流等を目的に、各種報告、事例検討、研修等を行ってきた。

(4) 新入社員研修

令和元年7月19日(金)3名の新任職員に研修

5 組織運営に関する報告

(1) 社員総会

定時社員総会 (社員総数46名)	2019年9月11日(水) (出席24名、委任22名)	・事業報告及び計画について ・理事改選の件 他
---------------------	--------------------------------	----------------------------

(2) 理事会(事業運営会議)

毎月第4木曜日に担当理事と各事業代表者で法人全体の事業運営について話し合いを重ねています。その内容については各事業別定例会で報告していますが、その際にはスタッフ側からも提案事項を積極的に発信して頂きたいと思っております。

(3) 懸案事項とその報告